

■「効果の見えるダム事業」 香川県 五郷ダム堰堤改良事業

【堰堤改良事業 五郷ダム管理設備工事】

とだ しゅうじ
香川県西讃土木事務所長 渡田 修司



● 五郷ダムの概要

- ① 目的 治水ダム
- ② 経過 昭和36年着工、昭和40年3月竣工
- ③ 位置 観音寺市 大野原町 有木
- ④ 河川名 二級河川 杵田川水系 前田川
- ⑤ 諸元 重力式コンクリートダム
堤高:50.5m 堤体積:81,150m³
総貯水容量:2,500千m³
集水面積:12.4km²



五郷ダム



● 事業の必要性・効果

洪水時の放流操作に必要なダム管理用制御処理設備、テレメータ放流警報設備及び多重無線設備等のダム管理設備については、毎年、定期点検・部分更新等を実施し適正な管理に努めていますが、前回更新時から13年を経過しており、老朽化が進むとともに部品の大半が製造中止（保守終息品）となっていることから、故障時の交換部品の調達が困難となってきています。

洪水時にダム管理機能が停止した場合、安全かつ適切なダム操作が行えない恐れがあり、ダム管理上の影響が懸念されているところです。

そのため、堰堤改良事業によりダム管理設備の改良・更新を行い、放流操作・情報伝達の確実性・信頼性を向上させ、ダム管理の適正化及び効率化を図ります。

今回、平成26年度～平成28年度の3ヶ年で堰堤改良事業による設備の整備・更新を行うこととしており、今年度は更新機器の設計を、平成27、28年度に更新工事を実施することとしています。

● 事業の内容

- 全体事業費 520百万円
事業期間 平成26年度～平成28年度
工事概要 ダム管理用制御処理設備改良
テレメータ・放流警報設備改良
放流設備改良



テレメータ・放流警報設備



「五郷ダムに期待すること」

しらかわ せいじ
観音寺市長 白川 晴司



「五郷ダム」は、源流を阿讃山脈の雲辺寺山とし、観音寺市大野原町五郷・落合において本流の杵田川に合流する杵田川水系前田川（延長 3.4km）の中ほどに位置しております。近くには、当市の文化財でもあります石積アーチ式ダムの豊稔池があり、「ゆるぬき」と呼ばれる放水の際には多数の観光客が訪れています。

現在、本流の杵田川の下流域では、レタス、玉ねぎなどの栽培が盛んに行われていますが、かつては洪水や水不足にたびたび見舞われ、家屋や農作物に甚大な被害を被っていたようです。

昭和20年10月8日の台風により人家への浸水が2,700戸、田畑の冠水が約1,000ヘクタールにおよび、公共土木の被害額が1億2千万円にのぼったと記録されています。

こういった被害から香川県が下流域を守るべく昭和36年、治水を目的として五郷ダムの建設に着手し、昭和40年3月に完成しました。このダムは、下流域のかんがい面積約1,200ヘクタールの干ばつを防除する水量約185万立方メートルをも確保しており、治水と耐洪水の両面をカバーするダムとなっており、下流域の発展に大きく寄与してまいりました。

しかし、災害の年といわれる平成16年には非常に多数の台風が上陸し、当該地区においても、尊い命を失うという痛ましい被害を受けました。今後こういった被害を出さないためにも、今回、香川県が実施する「堰堤改良事業 五郷ダム管理設備工事」により、より一層の安全な洪水調整を図っていただけるものと期待しているところです。また、施設の充実に加えて当市においても避難体制を強化してまいりたいと考えています。



「豊稔池ダム」



「下流のため池（井間池）」